

再入院となった症例から考える  
栄養指導の現状と今後の課題を明らかにする研究

1. 研究の目的・意義

超高齢社会の中、入院患者の6割を75歳以上の高齢者が占めています。高齢者は退院後、在宅での栄養管理と食事支援の継続が必要であるといわれています。しかし、退院後の栄養管理が困難となり、栄養状態が低下した状態で疾病を発症し再入院となる方も少なくありません。

今回、入院中に栄養指導を行い、同一病名で再入院となった方を対象に、在宅での栄養管理について面談によってデータ収集・分析し、現状と今後の課題を明らかにします。

なお本研究については、千葉県立佐原病院倫理審査委員会で審議され、千葉県立佐原病院長の許可を得て実施するものです。

2. 研究の方法・対象

本研究では、患者さんの基本的情報（年齢、性別、身長、体重など）や血液所見、再入院までの日数、利用サービスなどを診療録から調査し、さらに退院後の栄養管理について患者さん・ご家族、サービス担当者との面談により情報収集を行います。入手した情報から、栄養指導に関連した問題点を分析することを予定しています。

2019年12月1日から2020年5月31日までに栄養指導を行った入院患者のうち、同一病名で再入院となった方を対象とします。

3. 研究における同意の自由・同意撤回の自由について

この研究への同意はあなたの自由であり、たとえ同意を撤回した場合でも、あなたに不利益が生じることはありません。また、本研究への参加・協力をしていただいた場合でも、途中でやめたいと思われた場合はいつでもやめることができます。

4. 研究に協力することで、あなたが受ける不利益

この研究にご参加頂くことで受ける不利益はありません。

5. 個人情報の保護

本研究に関する情報は、学会発表などで公に発表されることがあります。その際に

は個人が特定されないよう慎重に配慮し、個人に関する情報が外部に公表されないようにします。また、情報に関しては研究目的以外に使用しないことを約束します。

#### 6. 情報の保管及び廃棄の方法

研究にて得られた情報は千葉県立佐原病院 栄養科にて保管されます。研究が終了した後は、個人情報特定されないようシュレッダーにかけて廃棄します。

#### 7. 問い合わせ窓口

この研究についてご質問等ございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。まずは月曜日から金曜日の9:00~16:00の間にお電話にてお問い合わせください。

代表者：千葉県立佐原病院 栄養科 古矢 詩織

住所：287-0003 千葉県香取市佐原イ 2285

電話：0478-54-1231 (内線 530)